

【 詩篇 】

- 37:1 悪を行う者に腹を立てるな。不正を行う者にねたみを起こすな。
37:2 彼らは草のようにたちまちしおれ 青草のように枯れるのだから。
37:3 【主】に信頼し 善を行え。地に住み 誠実を養え。
37:4 【主】を自らの喜びとせよ。主はあなたの心の願いをかなえてくださる。
37:5 あなたの道を【主】にゆだねよ。主に信頼せよ。主が成し遂げてくださる。
37:6 主は あなたの義を光のように あなたの正しさを 真昼のように輝かされる。

- 37:13 主は悪しき者を笑われる。彼の日が来るのをご覧になるから。
37:16 一人の正しい人が持つわずかなものは 多くの悪しき者が持つ富にまさる。
37:24 その人は転んでも 倒れ伏すことはない。【主】がその人*の腕を支えて
おられるからだ。*別訳「御手を置いておられる」

【 ヨハネの福音書 】

- 3:16 神は、実に、そのひとり子をお与えになったほどに世を愛された。それは
御子を信じる者が、一人として滅びることなく、永遠のいのちを持つため
である。

【 ローマ人への手紙 】

- 5:8 しかし、私たちがまだ罪人であったとき、キリストが私たちのために死なれた
ことによって、神は私たちに対するご自身の愛を明らかにしておられます。

* 特に断りがない限り、新改訳2017より使用



希望の光バプテスト教会

2020年9月27日(日)

礼拝メッセージノート

「 神の支配とこの世の不条理 」

| エレミヤ書講解-29 エレミヤ書12:1-6 他 小野寺 望 牧師

【 エレミヤ書 12章 】

- 1 「【主】よ。私があなたと論じても、あなたのほうが正しいのです。
それでも、私はさばきについて あなたにお聞きしたいのです。
なぜ、悪者の道が栄え、裏切りを働く者が みな安らかなのですか。
- 2 あなたが彼らを植え、 彼らは根を張り、伸びて実を結びました。
あなたは、彼らの口には近いのですが、 彼らの心の奥からは遠く離れて
おられます。
- 3 【主】よ。あなたは私を知り、 私を見て、 あなたに対する私の心を
試されます。 どうか彼らを、屠られる羊のように 引きずり出し、
殺戮の日のために取り分けてください。
- 4 いつまで、この地は喪に服し、 すべての畑の青草は枯れているのでしょうか。
そこに住む者たちの悪のために、 家畜も鳥も取り去られています。
人々は『神はわれわれの最期を見ない』 と言っています。」
- 5 「あなたは徒歩の者と競走して疲れるのに、 どうして馬と走り競うことが
できるだろうか。 平穏な地で安心して過ごしているのに、
どうしてヨルダンの密林で過ごせるだろうか。
- 6 あなたの兄弟や、父の家の者さえ、 彼らさえ、あなたを裏切り、
彼らでさえ、 あなたのうしろから大声で叫ぶ。 だから彼らがあなたに
親切そうに語りかけても、 彼らを信じてはならない。

(4ページへ続く)

◆ はじめに

| 世の不条理に不安にならないために：世は不条理にあふれている？

1. 一般の人々の苦しみ：神が愛なら、なぜこんなに苦しまなければならないのか。
 - ① 事故や災害、凶悪犯罪、新型コロナなどの犠牲（命の関する不条理）
 - ② ホームレス問題、家族の不幸、長期の闘病など（生活を襲う不幸）
2. 信者でも受ける苦しみ：信者は罪人から義とされ、特に愛されている者である。
 - ① 信者でも同じように、時に事故や犯罪の犠牲者となることがある。
 - ② 信者は愛の内にあるが、無風状態に置かれるのではない。
 - ③ 神が義ならば、なぜ悪人が栄えているのか（経済面、権力、名誉・・・）
3. 試練の中で信仰を失わない心構え：信者の優れた点とは何か？

◆ メッセージのアウトライン紹介とゴール

| 神の視点を忘れない～不条理に惑わされないために

* このメッセージは、神の支配とこの世の不条理について学ぶものである。

I エレミヤの不满（1～6節）

1. 神の支配とこの世の不条理（1～4節）

(1) 神がいるなら、なぜ？・・・神の奉仕者が日々の苦しみ 悪人が栄える現実

- ① この現実を見ながら受ける疑問をエレミヤは神にぶつける。
- ② 預言者ハバクも同じことについて、神と論じた（ハバ1：2～）
* つまりイスラエルの民の罪や、さばきの器バビロンはさばかれないのか？
- ③ その他に、信仰者の不条理を問う聖句・・・ヨブ記、詩37、73篇



(2) エレミヤの問い：不信仰のからくる問いではない。

* まず、神が正しいことは認めていたうえで、以下4点を問う。

- ① 悪人が栄えているのか、謀略を計る者たちが、栄えているのか
- ② 神が彼らを栄えさせているように見えるが、それはなぜか
- ③ 悪人たちをさばいてほしい
- ④ 国土の荒廃はいつまで続くのか

2. 神の答え（5節）

* 神はエレミヤの問いに直接答えず、別の方法で彼に答えた。

(1) 今直面している困難は、今後起こることに比べれば大したことない。

- ① 二つの比喩
 - ・ 「徒歩の人と競走する」「平穏な地で過ごす」：今直面している困難
 - ・ 「馬と走り競う」「ヨルダンの密林で過ごす」：将来起こる困難
- ② 当時のヨルダンの両岸は密林地帯。ライオンなどの野獣の生息地（49：19参照）

- (2) 故郷アナトテの親しい親族さえもエレミヤを裏切るようになる。信用できない。
- (3) 神に疑問を呈するよりも、将来の苦難に耐える信仰を育てよ。

II ダビデに見る問いの答え～詩37より

(1) 37篇とは：知恵の歌（真の知恵は、神への畏れを指す）

- ① 詩篇には「知恵の歌」と呼ばれるものがある。
1、14、25、34、37、39、49、73、78、90、91、111、112、127、128、131、133、139篇
- ② 詩37は、ダビデが晩年に記した詩：神の視点に立つ格言（箴言）のような内容
* 問いの内容：なぜ悪人が栄えるのか、なぜ義人が苦しむのか、神はいつ正義を示されるか

(2) 問いの答え

- ① 悪人の繁栄は長続きしない(2節)
- ② 義人はやみから救い出され真昼のように輝く。(6節)
- ③ 悪人の滅びは迫りつつあり、主は彼を笑う。(13節)
- ④ 義人の持つわずかなものは、悪人が持つ豊かなものに勝る。(16節)
- ⑤ 義人は試練にあっても絶望しない。(24節)

(3) 試練の時に取るべき対応

- ① 悪人を妬まず、主のみを信頼し、誠実を守り続ける。
- ② 主の愛を喜びとし、自分の道を主にゆだねる。
- ③ 忍耐して主を待つ。地を受け継ぐようになる。

(3) その他、詩73篇もアサフのよる同様の葛藤

- ① 人間的視点から不条理を見て失望する寸前で、神の視点で真理を見出す（17節～）

◆ まとめ：神の視点を忘れない～不条理に惑わされないために

(1) 個人的不条理：ホームレス問題の例（貧富の格差と心の問題の両面の場合が多い）

- ① 不幸な境遇は神の計画ではない（環境の要因は否定し難いが、選びの責任もある）
* 自分は悪くないという責任転嫁の姿勢からは、積極的な解決は生まれない。
* うつ症状の初歩には、「感情を選び取る」ことが重要。自己憐憫しない。
- ② 消極的計画ではあり得る。しかし神が見放した訳ではない。
- ③ 神の御心通りに歩みを修正する時、その体験は意味を持ち、他者を励ます力となる。
* 「過去の不幸」は、神と出会うために用意されたきっかけであると確信できる。

(2) 信者の不条理：

- ① 神は苦難を通して、愛する者を訓練される。銀のように精錬される。
- ② 神の視点（計画）に目を止め、約束と神の性質に信頼する。
- ③ 納得できない状況に祈る「苦難に耐えるために必要な信仰を増し加えてください」
* 非理性的でも、信者の苦し紛れではない。猜疑心を抑え、神と共にいるために・・・